

漁海況情報

第633号 (令和7年3月17日)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

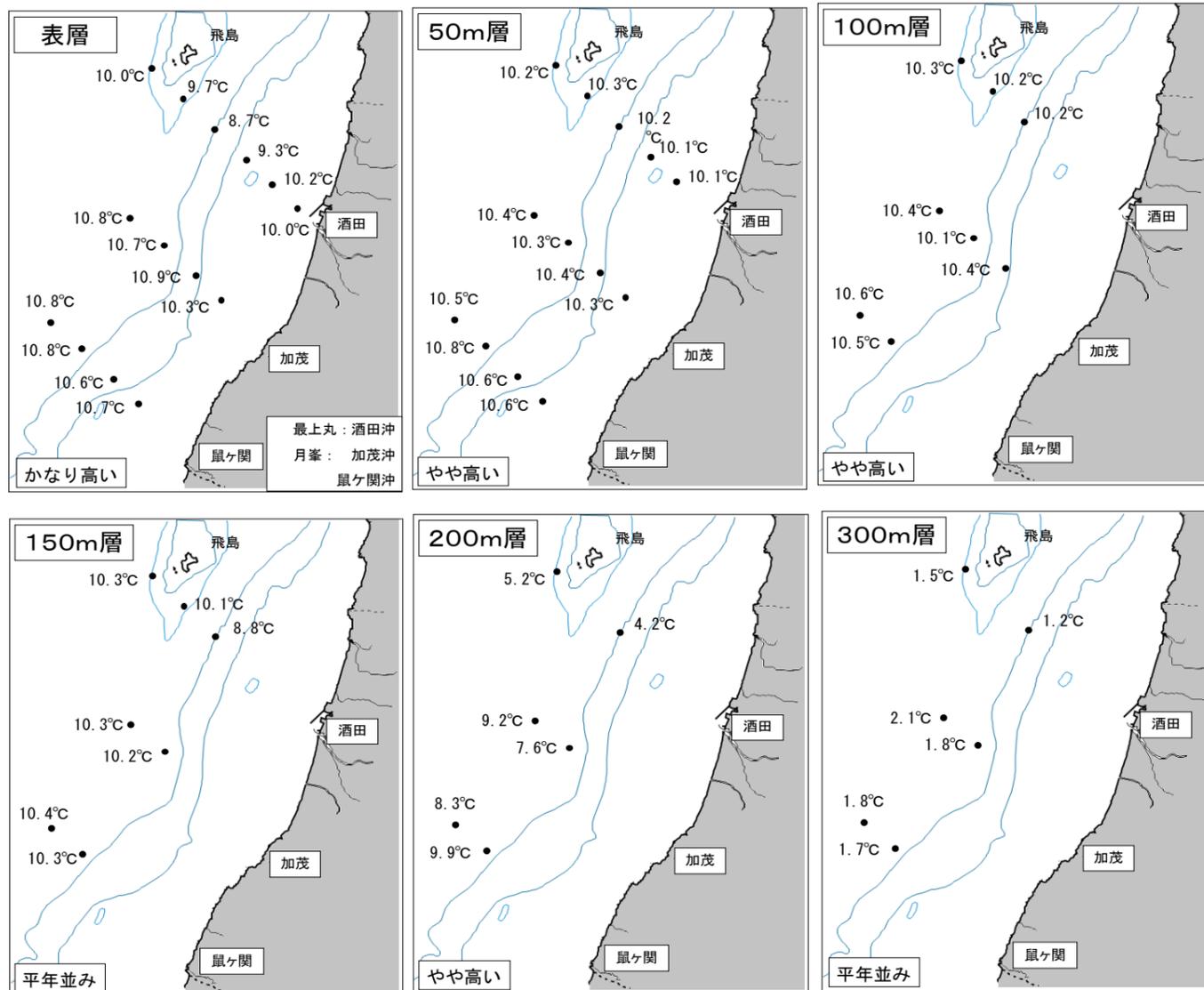
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、3月2日、3月11日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、150m層および300m層は「平年並み」、50m層、100m層および200m層は「やや高い」、表層は「かなり高い」でした。
- ・2月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「やや低い」でした。
- ・1月～2月の寒ダラ漁獲量は116トン(過去5年平均比51%)で平年を下回りました。

各層別の平均水温(3月上旬分観測値)

単位: °C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	10.3	10.4	10.3	10.1	7.4	1.7
前年差	+0.4	-0.0	+0.5	+1.6	+2.4	-0.0
平年差	+0.8	+0.5	+0.7	+0.6	+1.0	-0.0
評価	かなり高い	やや高い	やや高い	平年並み	やや高い	平年並み

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(2月)

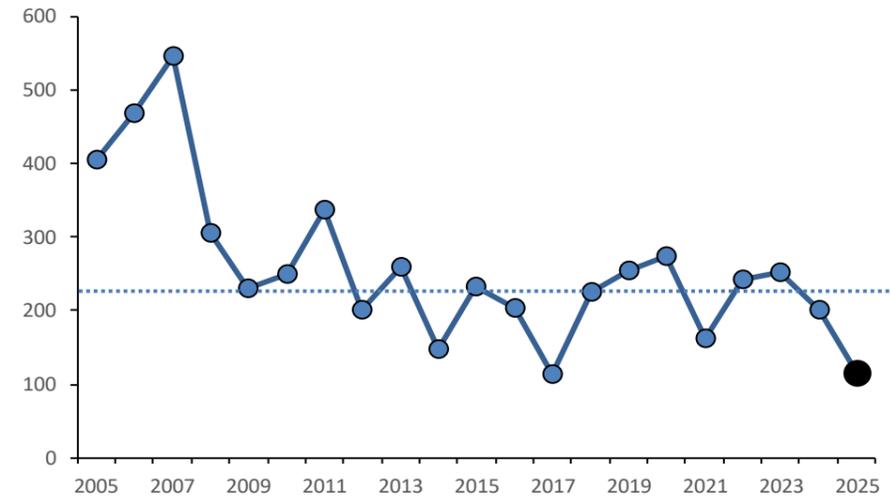
単位: °C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	6.9	-1.7	-0.8	やや低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	8.6	-1.6	-0.5	やや低い

寒ダラ漁のまとめ (『甘子』銘柄は含みません)

1. 漁獲量

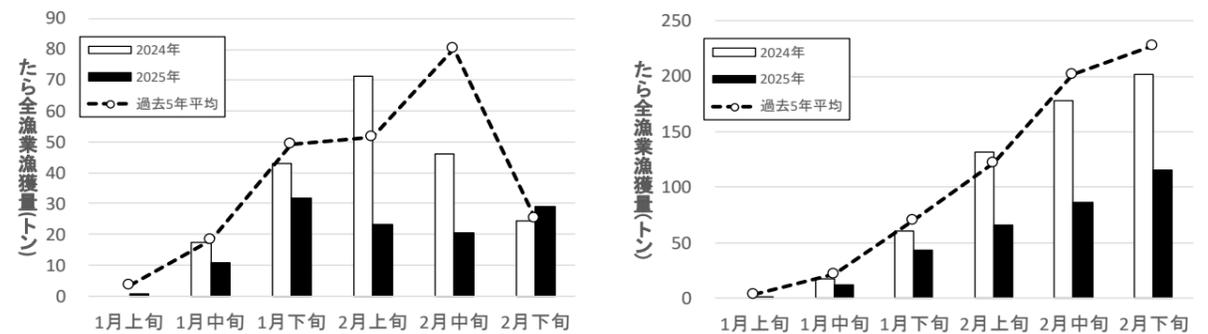
1～2月の漁獲量は116トンで、前年比57%、過去5年平均比51%でした。



山形県におけるマダラ漁獲量(1～2月・全漁業種類)の推移
 ※点線は過去5年平均

2. 旬別の推移

旬別の漁獲量は、2月下旬以外は平年を下回りました。累積漁獲量は過去5年平均を下回りました。



マダラ旬別漁獲状況(左:旬別漁獲量、右:累積漁獲量)
 ※平年は旬計・累計ともに過去5年平均

2月の漁況

- 延べ操業隻数は317隻で前年比49%、総漁獲量は128トンで前年比50%でした。
- 底びき網漁業の延べ操業隻数は124隻で前年比60%、漁獲量は122トンで前年比54%でした。スケトウダラおよびサメ類は前年を上回り、ヒラメ、カレイ類、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、ウマヅラハギ、フグ類、マダラ、紅エビ(ホッコクアカエビ)、ヤリイカおよびタコ類は前年を下回りました。
- はえなわ漁業の延べ操業隻数は24隻で前年比44%、漁獲量は0.5トンで前年比24%でした。タイ類、ノドグロ(アカムツ)、タコ類およびフグ類は前年を下回りました。
- その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のマガレイ、ヤリイカ、採貝藻漁業のアワビ、サザエ、ナマコおよびかご漁業のタコ類は前年を下回りました。

* 前年比は令和2～令和6年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	19	61	32	8	55	21	13	108	317	38%	49%
総漁獲量	3,288	1,963	27,667	167	18,760	13,333	249	62,464	127,891	52%	50%
前年比	13%	32%	45%	32%	42%	107%	42%	66%	52%		
前年比	17%	34%	42%	24%	39%	78%	78%	63%	50%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	8	17	21	14	64	124	54%	60%
タイ類	113	1,272	468	291	10,780	12,924	56%	103%
ヒラメ	22	64	48	86	463	683	70%	55%
カレイ類	200	61	244	303	1,808	2,616	47%	50%
ハタハタ	55		23	16	39	132	69%	1%
スケトウダラ	12		41	33	28	114	182%	498%
ホッケ		27	5		80	112	34%	29%
アンコウ	13	182	366	392	748	1,700	41%	44%
ウマヅラハギ	6	3	27	437	170	642	20%	36%
フグ類	535	1,453	1,334	12	1,448	4,783	32%	79%
ノドグロ(アカムツ)	38	648	104	138	493	1,420	76%	85%
マダラ	678	16,691	11,750	10,138	33,270	72,526	51%	47%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	65	61	49	8	458	641	10%	9%
ズワイガニ	2	3	5	15	210	235	51%	93%
ヤリイカ	39	87	162	53	879	1,219	85%	50%
タコ類	12	10	48	32	201	301	30%	33%
サメ類	1,204	2,678	3,391	1,132	8,520	16,926	264%	259%
その他	137	2,846	196	143	2,121	5,444		
計	3,129	26,085	18,259	13,229	61,714	122,417	55%	54%
前年比	13%	49%	43%	114%	68%	55%		
前年比	19%	51%	40%	80%	63%	54%		

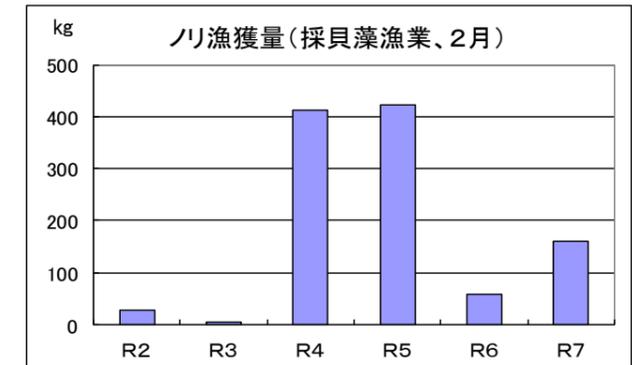
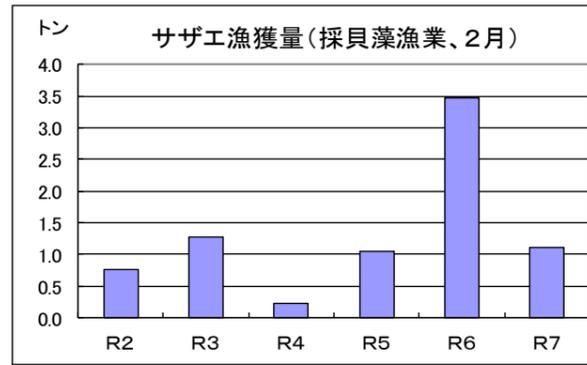
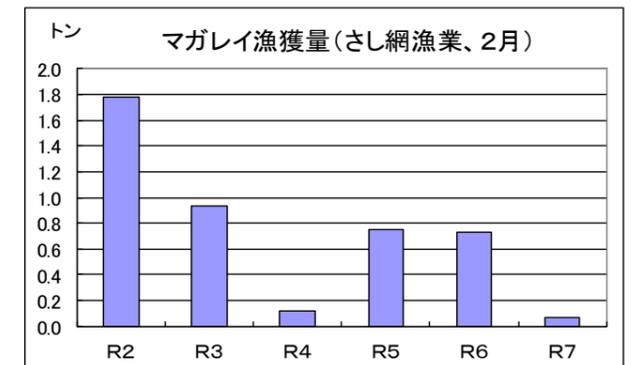
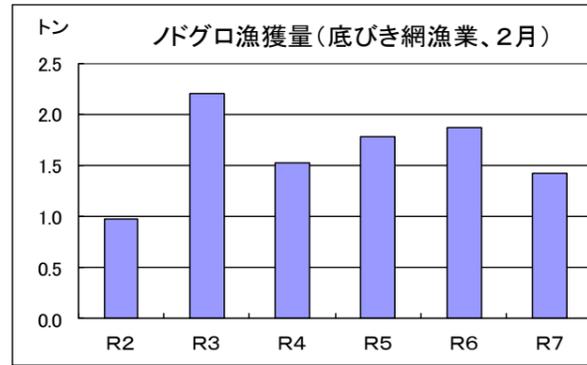
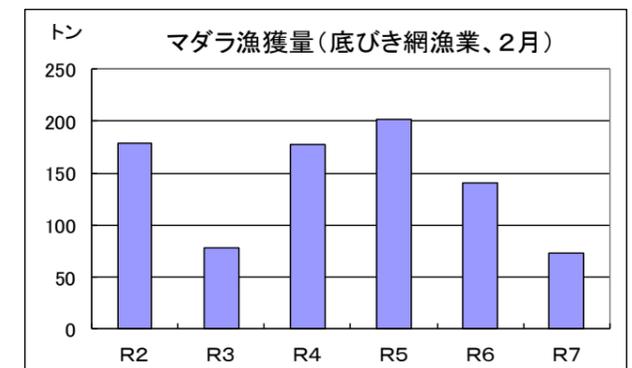
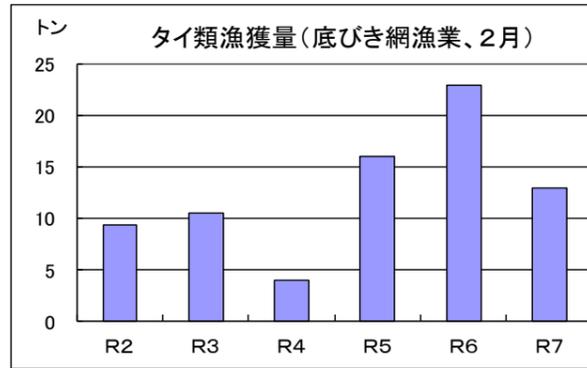
その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	さし網漁業	採貝藻漁業	かご漁業				
延べ操業隻数	9	0	14	114	12				
漁獲量			418	1,963					
前年比			8%	41%					
前年比			11%	75%					
主な対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	マガレイ	ヤリイカ	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ	タコ類
漁獲量	1,695	0	71	146	101	1,110	568	159	426
前年比	24%	—	10%	7%	26%	32%	70%	275%	33%
前年比	15%	—	8%	9%	33%	82%	84%	86%	24%

はえなわ漁業

単位:隻、kg

支所	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	2	4	4	2	12	24	45%	44%
タイ類		2		22	98	122	151%	37%
ノドグロ(アカムツ)		4			31	35	36%	27%
タコ類	57	12	60			129	18%	23%
フグ類		12			74	85	11%	15%
その他	6	49	14	2	63	134		
計	64	78	74	24	266	505	23%	24%
前年比	35%	12%	18%	32%	30%	23%		
前年比	32%	15%	22%	21%	35%	24%		



最上丸の調査予定(3月中旬～4月上旬)

- ・沖合の海洋観測を行います。
- ・ズワイガニ沖合漁場調査を行います。
- ・サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御理解と御協力よろしくお願いします。

